

今年度の活動計画(案)について

0. 今年度の活動項目（案）

合同防災訓練 2巡目

規約項目	実施内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(1)危機管理に係る事項	第1回幹事会	R元 5/30	R2 6/23 (WEB会議)	R3 6/2 (WEB会議)
	連絡協議会	R元 6/19	R2 6/19 (書面開催)	R3 6/9 (書面開催)
	第2回幹事会	R2 2/18	R3 2/18 (WEB会議)	R4 2/上旬～中旬 (WEB会議)
(2)防災業務計画や地域防災計画の共有		—	—	適宜実施
(3)防災訓練の実施について	出水期前訓練	学習型方式 高山市(R元 5/27)	資料配付回答方式 (R2 6/29資料送付)	資料配付回答方式 (R3 6/中旬資料発送)
	合同防災訓練	誘因:地震		誘因:豪雨
		ロールプレイング方式 飛騨市(R元 12/12)	ロールプレイング方式 白川村(R2 12/1)	ロールプレイング方式 WEBを予定
(4)平常時における防災意識向上に関する活動		防災講習会 高山市(R元 8/7)	—	適宜実施
(5)大規模土砂災害時における連携マニュアルの更新		更新	更新	適宜更新
(6)その他相互に必要と認められた活動		勉強会 事前学習の検討	勉強会 事前学習の検討	勉強会 事前学習の検討

0. 今年度の活動スケジュール（案）

No	取組み	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	第1回幹事会		■	6/2							
2	連絡協議会		■	6/9							
3	出水期前訓練		■		6月中旬～下旬						
4	事前学習ツール						試験運用及び更新				
5	事前説明会 (勉強会含む)	9月～11月を予定			■						
6	合同防災訓練	9月中旬～12月を予定			■						
7	第2回幹事会						2月上旬～中旬			■	

1. 危機管理に係る事項 第1回幹事会

■概要

日時 : 令和3年6月2日(水) 10:00~11:10

形式 : web会議形式により開催

協議事項

・今年度の活動計画について

1. 連絡協議会の開催

⇒令和3年度は幹事会を年2回、連絡協議会本会を1回開催とする。

2. 防災訓練の実施

⇒令和3年度は出水期前訓練・合同防災訓練の計2回実施する。

3. 事前学習の検討

⇒協議会構成員が所属組織の自席にて危機管理対応について学習し、危機管理能力を向上することを目的とした事前学習ツールの試験運用を行いツールの更新を行う。

・質疑応答

議事概要 : 以下に議事の概要を示す。

- ・新型コロナウイルスの影響を踏まえた今年度の活動計画(案)について同意を得た。

■参加機関・組織別参加者数

高山市		3名
飛騨市		4名
白川村		2名
岐阜県	危機管理部 防災課 県土整備部 砂防課 飛騨農林事務所 高山土木事務所 古川土木事務所	9名
林野庁	中部森林管理局飛騨森林管理署	1名
国交省	中部地方整備局高山国道事務所	2名
	神通川水系砂防事務所	3名
参加者合計		24名



第1回幹事会(web会議形式)状況写真

2. 防災業務計画や地域防災計画共有

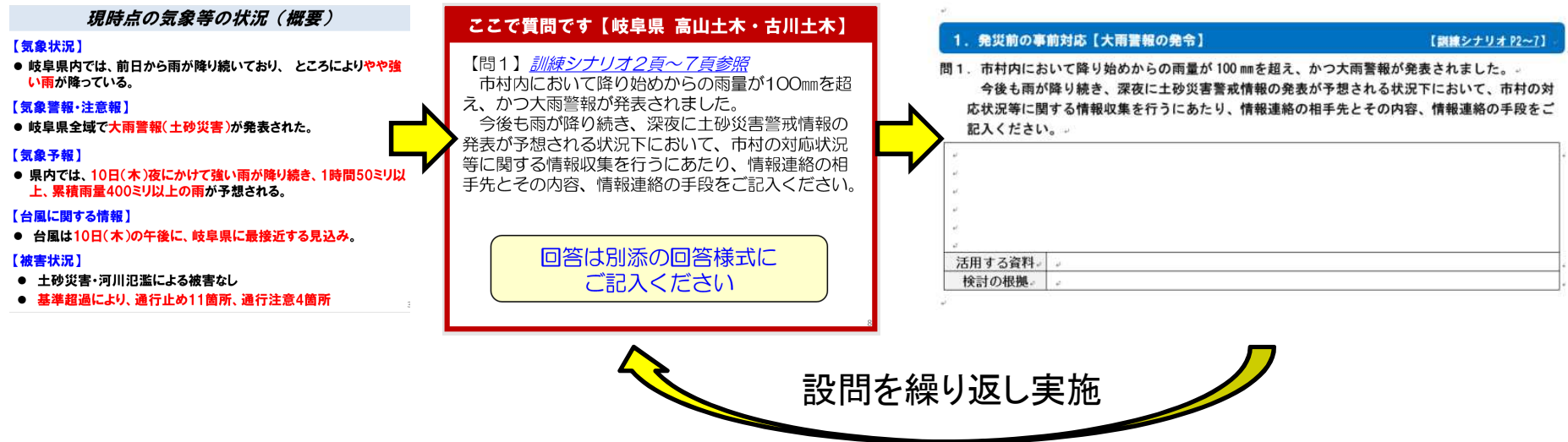
適宜、協議会・幹事会に諮る

※改訂等の際に関係機関で共有する事例があれば適宜、協議会・幹事会に計る方針です。

3. 防災訓練の実施について<出水期前訓練の概要>

- 目的 : ① 大規模土砂災害時における連携マニュアルの確認
② (春の人事異動後の)防災担当者の知識醸成(防災対応能力の向上)
- 時期 : 6月中旬~6月下旬
- 災害 : 誘因→豪雨 想定災害→河道閉塞、地すべり、同時多発的土砂災害
- 訓練内容 : ①発災前の事前対応
②土砂災害発生・初動対応
- 訓練時間 : 2時間(各機関、個人で可能な時間に実施)
- 訓練方式 : 資料配布、回答方式(メール等で訓練用テキストを配布、回答)

●出水期前訓練の流れ



協議会で承認後に各機関に訓練資料送付を予定している。

3. 防災訓練の実施について<合同防災訓練の概要>

- 目的 : ① 大規模土砂災害時における連携マニュアルの検証
② 実践的な防災対応能力の向上
- 時期 : 台風期後(日程決定後に連絡)
- 訓練方法 : WEBによる訓練を予定
- 災害 : 誘因→豪雨を予定
想定災害→河道閉塞、地すべり、同時多発的土砂災害
- 訓練範囲 : 緊急調査実施後のリエゾン派遣、連絡調整会議、合同記者会見対応
- 訓練方式 : ロールプレイング方式

●昨年度の合同防災訓練状況



会場全体状況



連絡会議状況(WEB)



合同防災訓練の時期・方法については、決定後に連絡する。

4. 平常時における防災意識向上に関する活動

①防災講演会



適宜、協議会・幹事会に諮る

- ✓ 今後は一般の人にも聞いてもらえることを考慮する方針。
- ✓ 防災意識向上のため、継続していきたいと考えているが実施にあたっては協議会・幹事会に計る方針。

②現地見学会

適宜、協議会・幹事会に諮る

5. 大規模土砂災害時における連携マニュアルの更新

今後も適宜、更新を行う。

※訓練の結果や協議会・幹事会での意見を踏まえて必要があれば適宜更新を行う方針。

6. その他相互に必要と認められた活動<勉強会>

①勉強会



平成30年北海道胆振東部地震に係る関係省庁災害対策会議(第4回)資料より抜粋



今年度も勉強会の開催を予定している。

6. その他相互に必要なと認めた活動<事前学習ツール>

②事前学習ツール

●事前学習ツールのイメージ

設問1 災害情報等の収集、共有
キーワード：連絡窓口、防災情報の入手、情報共有にあたっての留意点

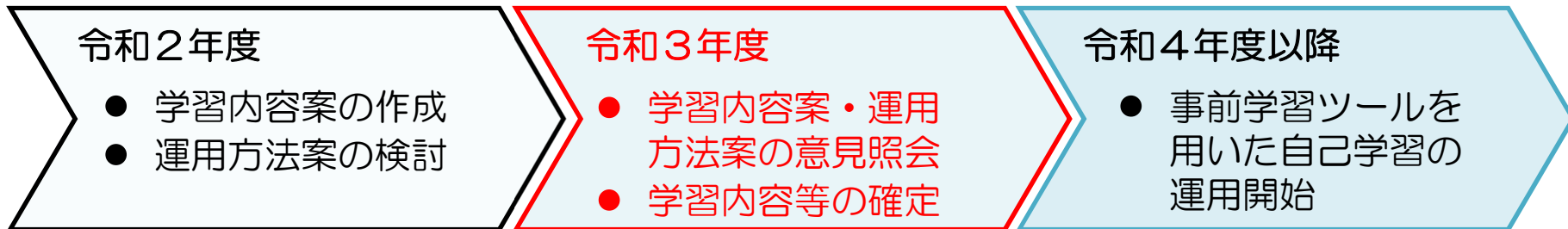
4つの選択肢の中から誤っているものを1つ選び回答ください。

問題1	
<input checked="" type="radio"/>	①大雨（または洪水、暴風、暴風雪）警報が発表され岐阜県が警戒体制に入った時、岐阜県の被害情報集約システムの利用により、市村等が入力した災害関連情報を関係機関で情報共有することができる。
<input checked="" type="radio"/>	②連絡窓口の情報として、各機関の対応組織名（課名、係名まで）、担当者役職と代理担当者役職、電話番号（夜間連絡先含む）、FAX番号を把握しておく必要がある。
<input checked="" type="radio"/>	③FAX やメールで配信した情報については、受信方の未確認による重要情報埋没防止のため、送信側・受信側の相互協力による受信確認を徹底する。
<input checked="" type="radio"/>	④土砂災害情報（土砂災害防止法に基づき指定した土砂災害警戒区域）をインターネットで入手する場合には、国土交通省の「川の防災情報」を活用する。

設問1 災害情報等の収集、共有
キーワード：連絡窓口、防災情報の入手、情報共有にあたっての留意点

問題1	
<input type="radio"/>	①大雨（または洪水、暴風、暴風雪）警報が発表され岐阜県が警戒体制に入った時、岐阜県の被害情報集約システムの利用により、市村等が入力した災害関連情報を関係機関で情報共有することができる。
<input type="radio"/>	②災害情報等の収集、共有にあたり、各機関の対応組織名（課名、係名まで）、担当者役職と代理担当者役職、電話番号（夜間連絡先含む）、FAX番号を把握しておく必要がある。
<input type="radio"/>	③FAX やメールで配信した情報については、受信方の未確認による重要情報埋没防止のため、送信側・受信側の相互協力による受信確認を徹底する。
<input checked="" type="radio"/>	④土砂災害情報（土砂災害防止法に基づき指定した土砂災害警戒区域）をインターネットで入手する場合には、 国土交通省の「川の防災情報」 を活用する。 正：岐阜県の「 山と川危険箇所マップ 」

●事前学習ツール運用に向けたスケジュール



試験運用実施後に意見照会を行いツールの更新を予定している。